

# 令和7年度 第1回めぐろプレ子ども・若者会議報告書

## 1 実施概要

日 時：令和7年8月16日（土） 13:00～15:00

開催場所：総合庁舎2階A会議室

参加者：9名

## 2 タイムテーブル

時刻	内容
13:00～13:30	開会、区長挨拶、自己紹介、イントロダクション
13:30～13:40	休憩
13:40～15:00	「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を1からつくる（途中5分間の休憩）
15:00	閉会

## 3 会議概要

タイムテーブルに沿って、会議の様子を紹介します。

### ● 区長挨拶

キックオフとなる初回は、区長の挨拶でスタートしました。挨拶では、「皆さんとのディスカッションによって、この会議の進め方が決まっていくので、積極的に発言をしてほしい」ことを伝えました。

また、会議への参加を通じ、同じ年代の人たちの考え方や感じ方に触れ、自身の視野を広げることは貴重であり、「プライスレス」な経験となることを話しました。

結びに、「外の暑さに負けないような、皆さんの積極的な熱い、熱いディスカッションを期待する」ことを伝えました。

### ● 自己紹介

自己紹介は名前、意気込みの一言に加えて、「自己紹介 de ビンゴを狙え！」と題した、アイスブレイクを兼ねた企画を実施しました。

この企画は、ビンゴ用紙に記載の9つのテーマから話したいものをひとつ選んでもらい、参加した皆さんそれぞれがビンゴを目指すものです（画像1参照）。「マイブーム」「オススメスポット」などのテーマの中で、最も選ばれたものは「これ得意です！」でした。話したいテーマがない場合もあることを想定し、項目に「パス」も用意しましたが、「パス」を使用した参加者はいませんでした。自己紹介終了時には、参加した皆さん全員がビンゴになりました。

### 自己紹介deビンゴを狙え！

目黒といえば	私の推し	これからやってみたいこと
マイブーム	バス	最近テンションがあがったこと
オススメスポット	これ得意です！	行ってみたいところ

画像1 ビンゴでのテーマ

## ● イントロダクション

イントロダクションでは、「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を開催する背景や目的のほか、今回の「めぐろプレ子ども・若者会議」のミッションを説明しました。

「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」の開催は、令和7年3月に改定した目黒区子ども総合計画の中で設けた「子ども・若者社会参画プロジェクト」の取り組みのひとつです。また、「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」は若い世代の声を施策として区に提案することが目的であり、高校生・大学生、新社会人など若い世代をターゲットに、声を聴く取り組みのひとつとなります。

「めぐろプレ子ども・若者会議」は「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」の事前準備の位置づけで開催しています。このため、会議名称や進め方などを参加した皆さんで話し合って決めていくことが「めぐろプレ子ども・若者会議」のミッションになることを話しました（画像2参照）。



画像2 会議のミッションを確認します

## ● 「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を1からつくる

イントロダクションまでの進行は区職員が行いましたが、「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を「1からつくる」では参加した皆さんのが主役となって検討を進めました。

検討を進める前に、会議で話し合う内容を確認しました（画像3参照）。

### 【検討項目】

- ・会議名称について
- ・会議の内容について など

### ★今日の会議で話し合うこと

- ▶ 名称
- ▶ 開催の形式（例：対面）
- ▶ 開催する曜日・時間帯・時間（例：土曜日・午後・2時間）
- ▶ 開催する場所（例：総合庁舎）
- ▶ 参加する人数（例：10人）
- ▶ 参加者の年齢層（例：高校生～25歳）
- ▶ 会議に必要なもの（例：ホワイトボード・ふせん）

画像3 会議で話し合うこと

### 【検討項目：会議名称について】

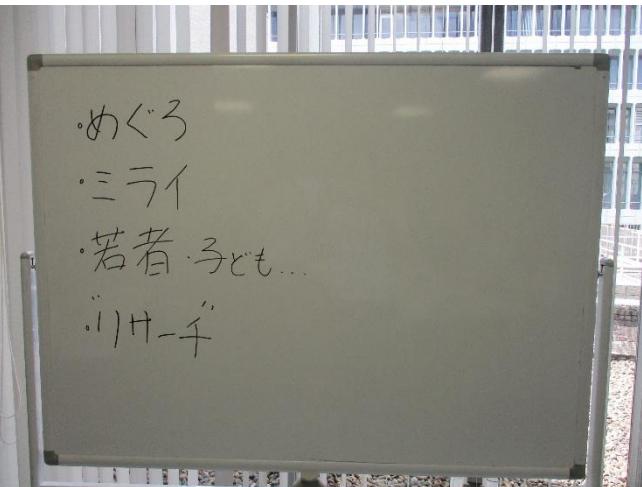
- ・検討のスタートとして、参加した皆さんが事前に思いついた・考えてきたアイデアを「見える化」するため、名称やキーワードを付せんに書き、ホワイトボードに貼り付けました（画像4参照）。
- ・ホワイトボードの前に参加した皆さんのが集まり、名称などに込めた思いを伝え合いました。ホワイトボードには、ひらがな、カタカナ、英語、略す形など様々な角度から考えられたものが並び、まずは共通点を書き出してみることになりました（画像5参照）。
- ・参加した皆さんそれぞれが考えを出し合う中で、「目を引くためには、どのようにすればよいか」「どういった名称であれば、私たちに響くか」との意見が次第にあがるようになり、「会議へ参加したくなるような名称をつけた方が良い」という方向性が出てきました。
- ・意見が落ち着いてきたところで、「一旦、会議の内容を話してみよう」との意見が出て、会議の内容を先に検討することになりました。

(参加した皆さんから出た会議名称のアイデア)

・めぐみら	・若者のためのミライ会議
・めぐろスマイル会議	・めぐろの子ども心会議
・めぐろをもっとよくする会議	・若者のために考える会議
・青少年交流会議	・Meguro future creators
・ミライ会議@めぐろ	・Meguro Next Gen Lab
・若者による若者のための会議	・Meguro Young Research Conference
・めぐろキッズプロデューサー	(Research は Policy、Conference は Project に置き換えるアイデアあり)
・めぐろ未来デザイン会議	・トビウオの回
・めぐろ未来プロデュース！	



画像4 アイデアを付せんに書き出します



画像5 共通点を書き出してみます

【検討項目：会議の内容について】

- ・「会議へ参加したくなるような名称をつけた方が良い」という方向性のもと、会議の内容のうち、ターゲットとなる対象年齢と参加人数に関する話し合いがはじまりました（画像6参照）。
- ・対象年齢では「どのくらいの年齢層が話しやすいか」「中学生を含めてはどうか」との意見が出る中、「MEGUROこどモニターやめぐろ Youth ミーティングで、子ども・若者の意見を集めることができるので、世代間のギャップが少なく、議論しやすい形がいい」という意見が出ました。この意見に共感が集まり、対象年齢は今回と同じ内容「高校生世代から25歳まで」で決まりました。
- ・参加人数では「多すぎるとまとまりがなくなるのではないか」「人数をグループ分けすると積極的に参加できるのではないか」など、参加した全員で活発な発言・意見交換ができる形で進めたいという意見が多数でした。このほか、「今年度の参加者が、来年度も引き続き参加できる枠を別に設けられるよう



画像6 意見を出し合い決めていきます

にしたい」との意見があり、参加人数は今回と同じ内容「10名程度」で決まりました。

### 【検討項目：会議名称について（再度）】

- ・会議の内容を一部決めた後、再び会議名称を決めるため、話し合いがはじまりました（画像7参照）。
- ・「会議の名称をみて参加してみたいと思えるかが重要と思う」「やはり「めぐろ」は外せないワードと思う」との意見がありました。このような意見が出る中、会議名称の候補がたくさん出ているので、「どれが気に入っているかを投票してみてはどうか」との提案がありました。この提案に賛同が集まり、投票することになりました。
- ・投票は参加した皆さん全員で行う予定でしたが、「ぜひ区職員も参加してほしい」との声があがりました。この声を受けて、区職員（4名）も投票に参加しました。投票方法はホワイトボードに貼った会議名称に番号を付番し、付せんに会議名称の番号を記入し、空き封筒に投票する方法でした。



画像7 会議名称を再び話し合います

投票は参加した皆さん全員で行う予定でしたが、「ぜひ区職員も参加してほしい」との声があがりました。この声を受けて、区職員（4名）も投票に参加しました。投票方法はホワイトボードに貼った会議名称に番号を付番し、付せんに会議名称の番号を記入し、空き封筒に投票する方法でした。



画像8 開票の結果を踏まえ話し合います

- ・投票は1人2票としました（1回目）。
- ・投票の結果、票が分散したため、票の少ない会議名称は一旦外し、票が集まつたもので絞り込むことになりました（画像8参照）。
- ・票が集まつた会議名称のうち、どのようなところが気に入っているかの意見を出し合う中で、「この中で投票をもう1回してみてはどうか」との提案があらためて出ました。

- ・2回目は、1人1票で投票を行いました。
- ・投票の結果、2つの名称「No.2 めぐろ未来プロデュース!」「No.3 めぐろスマイル会議」の得票数が同じになりました（画像9参照）。
- ・この結果を踏まえ、「2つの名称を合体させてもよいのではないか」との意見が出ました。早速、2つの名称を組み合わせみると「良い」「いいね」との声があがりました。最後に、言い回しの調整を行いました。



画像9 2回目の投票を開票します



画像10 会議名称が決まりました！

- ・会議の名称は、「未来の目黒をプロデュース!!『めぐろスマイル会議』となりました（画像10参照）。

#### 【その他】

- ・会議の内容が一部残りましたが、次回の会議（令和7年9月）で話し合います。

以 上